

全校のみなさん、おはようございます。

今週は先日おこなわれた期末考査の返却があつたと思います。

返却された結果をみて、日ごろの自分自身の学習への姿勢が問われていたのではないでしょうか。

さて、来週は西高祭です。楽しみな行事である一方で、沢山のお客さんを迎えるにあたっては、念入りの計画と準備が求められます。

今はさほど感じてはないと思いますが、疲労がたまると、気力が充たせず、やる気が湧いてこないことがあります。行事に限ったことではありませんが、楽しみの中には苦しく、辛いことが必ずあるのです。

親鸞聖人の書かれた『正像末和讃（しようぞうまつわさん）』に「悪性さらにやめがたし、こころは蛇蠍（じゃかつ）のごとくなり」という言葉があります。これは、「悪いことは、どうしてもやめられない。だから、自分の心は、蛇や蠍のような欲望で満たされているのだ」という意味です。

人間は、誰でも欲望を持っています。欲望は、自分が生きるために必要なものである一方、無意識のうちに、自分にとつて都合の悪いこと、「苦しいこと」「おもしろくないこと」から逃げようとするはたらきがあります。それゆえ欲望を抑制すること、すなわち自分自身をコントロールすることが求められますが、これほど難しいことはありません。ダメだとわかっていながらも、ついついやつてしまう。やらなければならぬのに、ついついサボってしまうのが私たち人間なのです。

しかし、蛇や蠍のように自分の欲望の奴隷になつてばかりでは、私たちは人間らしく生きていくことができません。「我慢」とか、「忍耐」という言葉は、古くさい気がしますけれども、現代に生きる私たちには、大切なことではないでしょうか。

人間が人間であるために大切なことはなにか。日々の生活の中で、感じる苦しいこと、面白くないことが私たちに大切なことを教えてくれるかもしれません。

西高祭まであと一週間です。素晴らしい行事にするために、今一度、自身のあり方を振り返られるといいですね。